

Y10c 高校生天体観測ネットワーク～2003年度および2004年度の取り組み

篠原 秀雄(三郷北高)、高橋 淳(茨城県自然博物館)、Astro-HS 運営委員会

2003年度、高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)は、3つの観測テーマを設定した。(1)水星の太陽面通過、(2)ペルセウス座流星群、(3)火星大接近である。それぞれの観測会の内容は次の通りである。(1)現象の時間的経過および画像の記録(2)流星群の計数観測・画像の記録および部活動における合宿の支援(3)火星の位置・色・明るさなどの記録およびすばる望遠鏡の画像の提供 特に、各方面の協力により火星観測会におけるすばる画像の利用が実現できたことは、画期的なことであった。年度末の3月21日には、春季年会にあわせて名古屋市内で全国フォーラムを開催した。今回は講演や一般発表および交流会を中心に行い、生徒発表はジュニアセッションでのみ行うように設定した。全国フォーラムでは25件の講演があり、参加者は約130人であった。また、ジュニアセッションではすばるの火星画像を利用した発表が3件あった。2004年度は、二大彗星、金星太陽面通過、ペルセウス座流星群およびスプライト現象をテーマとしている。